

## 第五回宝塚ちどり納涼祭を

### 開催致しました

納涼祭実行委員長 池下恭平

(青葉台・五月台ユニットリーダー)

平成二十四年七月十六日(月)、晴天に恵まれ、絶好のお祭り日和の中で、当施設において最大の地域交流の場でもある納涼祭を開催しました。

大きく掲げられた納涼祭の看板は、篠原作業療法士と一緒にデザイナービュースのご利用者が作成した力作で、会場を華やかに彩っていました。ご参加頂いた方々からも「きれいな〜」「思わず看板を見入ってしまいました」「等」等のうれしいお言葉を頂きました。

食べ物コーナーでは、宝塚ちどりに勤務しているインドネシア人介護福祉士候補者四名が中心となって、インド



ネシアの郷土料理を出店しました。

召し上がった方々からも「初めて食べたけど、すごく美味しかったよ」「炊き込みご飯に似ている、食べやすかった」等、大好評でした。

その他にも、焼きそばやコロッケ、ジュース・ビール、アイスクリーム等のコーナーも出店しました。当日は気温が高く、非常に暑かったため、冷えたジュースやビール、アイスクリームが飛びように売っていました。ゲームコーナーでは、綿菓子作り体験、ヒモ引き、ヨーヨー釣り、輪投げ等を出店しました。

子供たちが真剣にゲームに挑戦し、獲得した景品で一喜一憂する姿に、声援や励ましを送られるご利用者もおられ、微笑ましい光景が広がっていました。

宝塚ちどりで、社会福祉士実習を実習中の方々にもご協力頂き、バルーンアートの作品を地域の子供たち

に配布しました。こちらでも大好評でいつの間にか行列が出来るほどの人気でした。

そして、納涼祭のメインイベントの盆踊りを、福井・亀井自治会婦人部の方々は

じめ、御所の前地域婦人部の方々が中心となって踊って頂きました。ご利用者や職員も一緒に輪に入って楽しみつ、輪に入って踊るのは恥ずかしいと仰るご利用者も、音楽に合わせて、手拍子をされていました。やぐらを囲み、提灯の下を浴衣姿で踊られる様子が、より一層、お祭り気分を盛り上げるものとなりました。

スイカ割りでは、思うように叩けず、なかなか割れないスイカを前に大きな笑い声が生まれました。皆で声を掛け合い協力し、無事に割ることが出来た時は拍手喝采となりました。スイカは職員が切り分け、皆様に提供しました。



やぐらの前では、日頃より宝塚ちどりの造園や、お花の手入れのご協力を頂いているメリーポピンスの会様により、花の苗販売を出店して頂き、会場に華を添えて頂きました。

その他にも、大道芸人によるショーもあり、普段目のあまり見ることのないパフォーマンスの連続に歓声が上がっていました。

バザーの出店では、多くの方々よりご寄贈を頂き、充実したバザーになりました。ご協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、今回の納涼祭は、地域の方々（福井・亀井自治会、末成コミュニティ、ナルク、喫茶チエリー、株式会社松栄自動車、クリーニングやました株式会社、久保田セメント工業株式会社阪神営業所、T O A 株式会社宝塚事業場）のご協力、さらには、ボランティアの方々によるやぐら設営等の準備段階から、お祭り終了後も片付けや収納等、細部に至るまでご協力があり、無事に執り行えたものであります。

また、当日にはご参加頂けませんでした。宝塚市の中川市長からメッセージを頂戴しました。加えて、ご来賓としては、大変お忙しい中、宝塚市自治会連合会会長・尾崎様、福井亀井自治会会長・田村様にご臨席賜りました。

ここに厚く御礼申し上げますとともに、今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

## ユニット報告

### 逆瀬川・星の荘ユニット

七月二十四日に、JR中山寺駅付近の回転寿司店へお寿司を食べに行きました。

参加された方は、沢山の種類のお寿司をご覧になり、「どれから食べようかな？」と目を輝かされながら選ばれていました。

お寿司を口に入れられると、「すごく美味しいねー」と笑顔で話されていました。普段ユニ



ットで生活されることが多いご利用者にとっては、気分転換を図ることができたのではないかと思います。八月には、映画鑑賞会等も企画しています。（北辻）

### 五月台・青葉台ユニット

七月三十一日に施設屋上にて花火大会を開催しました。

夏の風物詩でもある花火に「花火なんて久しぶりやわ！」「きれいやね〜！」と歓声が上がっていました。

花火をご覧になりながらアイスを召し上げて頂き、夏の夕暮れを感じて頂きました。ご家族のご参加もあり、皆様と一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。（池下）

### グループホーム

介護事業係長 杉本 圭

七月二十七日、小林地域包括支援センターより依頼を受け、講師としてミニ勉強会に参加させていただきました。





## 「ミニ勉強会」

は小林地域包括支援センターが主催で、地域包括ケアの基盤強化、地域ケア力向上支援の一環としての研修とされ、小林地域



などにある介護保険事業所及び関係機関を対象にした勉強会が毎週金曜日に開催されています。また、多職種・他機関の「顔合わせの場」や「情報交換の場」としての役割もあるとされています。

今回は、「認知症」というテーマのもと、「グループホームでの生活」について、認知症ケアの視点から報告いたしました。特に、外出時のご様子や、遠足行事のご様子は、画像を用いて楽しまれていらっしゃる様子をお伝えしました。

質疑応答では参加者の皆様より様々なご意見、ご質問が寄せられ、まさに密度の濃い情報交換の場と感じました。

今回の勉強会は講師としての参加でしたが、大変勉強になり、有意義な時間となりました。

## 委員会報告

### サービスイノベーション委員会

七月十一日（水）開催

七月の定例会議では継続的に協議している言葉遣いの見直しについての具体的な方策として、『意見箱を設置してみてもどうか』といった案もあがりました。まずは、試験的に職員用通路への設置を検討しています。

また、九月頃にカラオケ喫茶サークルを行う予定ですので、詳しい日程が決まり次第お伝え致します。

### 研修委員会

七月三十一日は新入職員

を対象に食べる時のポイントや口腔ケアを実施し、基本的な知識を学び意識付けに繋がりました。



八月三日は適切な口腔ケアを行うことを目的とし、ユニットリーダー

とサブリーダーを対象に研修を行いました。

ご利用者にあった口腔ケア用品の選び方や、実際に開口が困難なご利用者を対象のケアについて学ぶことができ、ご利用者の状態に沿ったケアのポイントや注意事項を指導して頂きました。

この研修にて口腔ケアの重要性を再認識する機会となりました。日々のケアの中で学んだ事を活かしていきたいと思えます。（都崎）

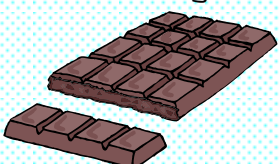
### 給食衛生感染症対策委員会

七月十七日（火）開催

給食委員会では、先月より試みている、極トロミ食の果物をムーズ状に変更したことに対し意見を出し合いました。

食べやすそうにされている・介助もスムーズであるとの意見がありましたのでこのまま継続していく事になりました。

リクエスト食では、ちらし寿司やチョコレート、杏仁豆腐、オムライス等が挙がりました。



全てを翌月までの献立に反映させていきます。尚、八月中に食事アンケート調査を実施します。この結果も踏まえ、ご利用者の要望やニーズに合った食事の提供に努めたいと思います。

感染症委員会では、毎月の次亜塩素酸消毒液の交換について確認を行いました。また、適切な排泄介助を行う為に、排便時は洗浄用のボトルやウオッシュレットを使用して、必ず陰部洗浄を行うように伝達しています。(中村)

## 事故防止委員会

七月二十四日(火)開催  
身体拘束廃止委員会では、ショートステイご利用者について、ご自宅での過ごされ方と、介護保険指定基準において禁止の対象となる具体的な行為に定められている内容について、比較検討する機会を持ちました。各スタッフそれぞれの感じ方に違いがあり、身体抑制を行うことによる弊害について、継続して考えていく必要があると思います。

事故防止委員会では、前回の会議より生じた事故・ヒヤリハットを各ユニットで報告しあい、その中でも取り分け爪で生じた表皮剥離の事故について協議しました。

ご利用者・職員共に爪の定期的な確認を徹底し、外傷事故の防止にためて参ります。(吉田)

## 地域交流委員会

七月二十五日(水)開催  
地域交流委員会では、昨年度に引き続き、ご利用者を地域のお祭りにご案内し、楽しんで頂こうと検討しました。

一度にご案内出来る人数に限りはありますが、出来るだけ多くのご利用者に参加して頂けるよう、また地域とのつながりを深めるように取り組みます。



(森本)

## 敬老祝賀会を開催します

九月九日(日) 十四時から十五時に敬老祝賀会を開催します。  
喜寿・米寿・白寿・百歳以上の方

を表彰するとともに、記念品をお渡しし、ご長寿をお祝いしたいと思います。(森本)

## 電話番号・FAX番号

「ご確認のお願い」

最近、電話番号の間違いや、FAX番号の間違いで、お問い合わせを頂くことがあります。誠に恐れいりますが、施設へのご連絡の際は、今一度番号をお確かめ下さいますようお願い申し上げます。(既に携帯電話等に登録されている場合も再度ご確認をお願いします)

宝塚ちどり

電話 0797・73・0880

FAX 0797・73・0890

## 編集後記

本当の夏バテは夏の終わりにやってくるそうです。  
そんな時には食事に生姜を取り入れると良いそうです。(岡村)

